



### 会長就任のご挨拶

同窓会会長 関 昌三

異常気象と不況の続く昨今です  
が会員皆様方には益々御健勝にて  
御活躍の事とご推察申し上げます。

過日、六月十八日の平成五年度  
同窓会常任幹事会に於て、本部役  
員の定数増が可決されましたがそ  
れに伴い、新たに二名の新役員を  
迎え新体制でスタートしました。

尚前会長林進一氏の相談役就任  
に伴い、私が新会長に選出されま  
したが、その責任の重さを身にし  
みて感じている毎日です。

我が母校も、金山女子校仮校舎  
でスタートをして早くも三十年が  
経過し、伝統校への仲間入りをす  
る年令になって参りました。

会員皆様におかれましては、そ  
れぞれの年代での様々な思い出が  
ある事とおもいます。

立派な校舎となった母校を、今  
年開催をされる工業祭の機会に御

立寄り頂ければ幸いと存じます。  
何年が経過しようと、母校とは  
良いものです。

最後になりましたが、我々本部  
役員会に対しての常任幹事の皆様  
方よりの御指摘を、今後の運営の  
指針として参りますが、内容は  
一、本部役員相互の親睦を深めて  
同窓会の円滑な運営を。

二、魅力ある同窓会活動で、常任  
幹事が喜んで出席できる会に。  
三、同窓会活動を、広く会員に知  
らしめる努力をする。

四、支部結成とその活動を援助し、  
本部と共に同窓会活動を、点か  
ら線の活動へと活発化を。  
という御意見を真に受け止めたい  
と考えております。

新本部役員一同、心をひとつに  
し、何をするかという目標と共に  
今我々に何ができるかという事か  
ら微力ではありますが努力をする  
所存でございます。

同窓会々員皆様方の今後益々の  
御指導・御協力を御願いたします  
して御挨拶いたします。

### あいさつ

校長 曾我亮二

会員の皆様には、本校の充実発  
展のために御指導・御協力をいた  
だいており、厚くお礼申し上げます。

この三月には、二七七名の卒業  
生を送り出し、新たな会員として  
迎えていただきました。新会員の  
皆さんが、今後、洋々たる未来を  
拓いていくことを期待するもので  
ありますが、先輩の暖かい御支援・  
御教示をお願い申し上げます。

さて、六月十八日の常任幹事会  
において役員が改選されました。  
本会の一層の発展のために御尽力  
いただきます。関 新会長さんを  
はじめ役員に就かれました方々に  
は、衷心より敬意を表するととも  
に、お祝い申し上げます次第であ  
ります。

林 前会長さんには、本校同窓  
会創立以来、本会の運営等に尽瘁  
され、多大な貢献をされましたこ  
とは周知のとおりであります。こ  
れからは相談役として、豊富な経  
験と高い識見を生かして引き続き  
大所、高所から御指導・御助言を  
賜りますようお願い申し上げます。

昨年度は、本校新築移転関連の  
諸事業も一段落したところであり  
ましたので、永年の懸案となつて  
いた、野球部雨天練習場の建設を  
行いましたが、お陰をもちまして  
無事完成し、三月四日に落成式を  
挙行することができました。この  
事業が、野球部のみでなく、部活  
動全体の一層の活性化に繋がるこ  
とを願っております。

また、昨年度は、九月から、学  
校週五日制実施の第一歩として、  
第二土曜日が休日となり、月一回  
の週休二日制が導入されました。

それに伴い、教育課程の一部手直  
しが行われましたが、現行の学習  
指導要領による教育課程は今年度  
が最後の年であります。来年度か  
らは、新しい教育課程により学習  
指導等が行われることとなります  
が、太工三十余年の歴史の中で築  
かれた伝統を再認識しながら、新  
学習指導要領の趣旨に沿って、新  
しい時代に生きる有為な工業技術  
者の育成に努めてまいりたいと思  
いますので、新役員の方々はじめ  
会員各位には引き続き御指導・御  
鞭撻を賜りますようお願いし、本  
会のみならずの発展と会員の皆様  
の御健勝をお祈り申し上げます。

さつといたします。

## 相談役に就任して

林 進一

今年の夏は、冷夏と長雨の連続記録を残し終りました。

そして、初秋にはいると、日本列島は台風に見舞われ、雨量の多い今日今頃ですが、同窓会員の皆様におかれましては、お元気で日夜御活躍されている事と、御推察申し上げます。

扱、今回の第十五期役員改選で相談役に選出されました、林ですが、関新会長同様よろしくお願いいたします。

本校同窓会は、平成五年度に、第二十九回卒業生二百七十七名を新会員に向え、総会員数約七千七百となりました。

小生が、会長として二十八年間無事にやってこられたのは、同窓会員皆様の御指導・御協力によるものと、心から感謝申し上げます。

この間を振り返りますと、その第一は、同窓会事業の重要な一つの会員名簿の発行です。

第一版は昭和四十三年、第二版は昭和五十二年、各々発行しましたが、手書きによる収集でしたので非常に手間がかかった事を思い出します。第三版は昭和六十二年

に発行しましたが、会員数約六千名という事もあり、電算化しました。会員名簿は、同窓会活動の基本となりますので、一層の充実完備に努めていきます。勤務先、現住所等の変更があった時は、本部まで御連絡下さるようお願いいたします。

その二は、同窓会報の発行です。今回で、第二十二号になりますが、会員皆様の寄稿協力に感謝いたします。今後よろしくお願いいたします。

学校側との協力事業としては、創立三十周年並びに新築移転記念です。昭和六十三年六月二十四日に準備会がスタートし、記念式典を平成二年十一月二日に新装となった体育館で挙行した。その残金、約二百六十万円は校内施設の充実に充たせていただくことで承認されました。昭和五十八年の第六十五回大会の野球部甲子園出場での寄付金集めは臨時幹事会を電話で召集したが、音楽室一杯になり、その質間で目標額五百万とお願いしたが、同窓会関係で千九十万円と目標の二倍以上を集めてもらい感謝にたえません。

最後に、会員皆様の、益々の御発展を祈念し、相談役就任の挨拶と致します。

## 工業教育雑感

高橋 二千雄

「梅雨明け宣言」ができないほどの異常気象に台風の追い打ち、日常生活にも様々な影響がでてくるこの頃ですが、同窓生の皆様には益々ご健勝のことと推察申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に深いご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、この度四月一日付で本校へ転勤を命ぜられ、七年ぶりに戻ってまいりました。この間、校舎の概観は一変しました。広い校庭に立つて新校舎を眺めているとその威容に圧倒されそうです。同時に内ヶ島校舎時代を懐しく思い出します。内ヶ島校舎は、総ての施設が完成するまでに十年ほどの歳月を要しました。この間、同窓生の皆様は校庭整地に汗を流したり、部活動では蚊に悩まされながら教室で寝泊りしたり、また、狭い校庭や体育館で各部がひしめき合いつながりながら切磋琢磨して練習に励みましました。多くの困難と直面しながらも学校全体が活気に溢れていました。現在のすばらしい教育環境を目的のあたりにして、あらためて時の流れを感じます。

さて、経済の飛躍的發展とその歪を露呈した「バブルの崩壊は私達に大きなインパクトを与えるとともに人生観や価値観にも少なからぬ影響を及ぼしています。その一つは物質文化・消費文化の見直しであり、「人生とは何か」という古くて新しい命題への問いかけです。一般的に、日本人は欧米人に比べ宗教・哲学・政治・芸術等言わば人生のソフトウェアとも言うべき分野への関心が薄く個人個人の顔がないと言われる。これは日本の歴史的・文化的・風土的背景によるものと考えられる。こうした国民性は一方で、短期間で国民の教育水準を飛躍的に高め、ひいては生産性や品質の向上をもたらす、貿易立国、技術立国の基盤を固めた。しかしながら一時のバブル経済が製造技術や技能にある種の偏見をもたらしたことは残念なことである。バブル経済の崩壊による不況があらためて製造現場を見直そうという気運をもたらしたことは何とも皮肉なことである。時代の背景や景気の動向に左右されることなく確かな技術・技能を身につけさせることは工業教育にとつて最も重要なことである。言わばハードウェアの充実である。しかし、同時にその技術・技能を

生かし、社会に奉仕し、豊かな人生を切り開いていくためには、青少年期に様々な経験を積み、豊かな情操を身につける必要がある。

欧米、特にヨーロッパにおいて第二次大戦後その経済的發展にブレイキがかかった原因の一つは階層的な社会にある。階層的な社会は多様な価値観や人生観を容認し、個性的な生き方を助長する一方で合理性や生産性の向上を阻害してきた。

今、欧米では日本の社会制度なかも教育制度への関心が高まりつつあり、各国とも教育改革が急速に進められている。日本は均一化した社会であり、特に教育において正に横一線の競争社会に陥り、個性の喪失、情操の欠如等様々な歪みが顕在化している。偏差値教育はその最たるものである。

技術立国を支える工業教育に求められるもの、それは人生のハードウェアとソフトウェアのバランスのとれた教育である。

すばらしい環境と礼儀正しい生徒を目的に思いを馳せています。



## 太田工業高校の二年

前教頭 飯塚 誠

太田工業高校へ転動したのは、奇しくも学校が全面移転し、創立三十周年式典を挙行し、新生太田工業高校としての新しい出発をした翌年でありました。

私事になりますが、私は太田工業高校に勤務させていただいたお陰で、私の教員生活の中で群馬県の公立高校のすべての課程とすべての学科の学校に勤務経験を持つことができました。

太田工業高校着任当初の印象は強烈でした。まず、工業高校の教育課程表を見て、専門教科・科目の数の多さ、科目の名称から推察される高度な学習内容、専門科目の教科書を開けば、文系出身の私には全く歯が立たない構造図や公式、度量衡の単位に驚きました。

また、校内を一巡して感じる建物の大きさ、一見素人目には、生産工場と見紛う近代的な施設・設備の豊富さ等です。

さらには、第九代伏間江健二校長、第十代曾我亮二校長をはじめとする、錚々たる学識と多方面の豊富な経験を持った八十余名の先生方の陣容の豊かさです。

六つの公立高校を経験した私は太田工業高校が一番恵まれた学校であったと思っています。

生活を通してつくづくと感じることは、どの高校の生徒も本来的には人間として差がないということです。高校が偏差値で評価される今日、世評は各高校様々でしょうが、どの学校にも、スポーツに青春をかけ輝いている生徒、毎朝さわやかな笑顔で挨拶を交わす生徒、黙々と目立たない所を進んで清掃をする生徒、自分の進路実現にひたすら精進している生徒たちはたくさんいます。

反面、身体を動かすことを極端に嫌がる生徒、何時も責任回避ばかりしている生徒、身勝手に他人の心の痛みに全然気付かない生徒、人間の言葉が全く通じない生徒もどこの学校にもいました。

ある教育者は「学んだことの一つの証は、自分が変わることである。」と言っています。学校教育において、「自己教育力の育成」が叫ばれている今日、この言葉は、教師、生徒はもちろん、国民全体が各人の肝に銘ずべき言葉だと思っています。

太田工業高校同窓会のますますのご隆昌と太田工業高校の発展を心から祈念申し上げます。

## 新役員紹介

書記 後藤 篤志

私が本部役員の仲間入りをして三年目をむかえました。

簡単に私の経歴を紹介しますと、昭和五十五年三月電気科を卒業、同年四月東京電力に入社、以来一般の会員として約十一年間が過ぎ、平成三年六月から本部の仲間入りをして活動を始めました。

みなさんは卒業式の前日に、同窓会の入会式が行なわれた事を憶えていらっしやるでしょうか？

私は、同窓会から卒業の記念に「ネクタイピン」をもらった事しか憶えていませんでした。

私が、本部役員として、入会式に出席して「そういえば、こんな事をしたような気がするなあ」と言う程度にしか、思い出さなかったのも、みなさんも、ほとんど憶えていないと思います。

現在、我校の同窓会は、会員が七千名を超える程になりました。

私の職場でも、支部を結成し、約六十名の組織となり、年に一度の総会と懇親会を行っており、職場が、散在しているために、集まれるのは二〇名程度と言うのが現状です。

どこの世界でも同じでしょうが、人数が多くなれば、まとまらなくなってしまうのは、しかたのない話で、誰に責任があると言うわけではありませんが、これをまとめなければならぬのが本部役員の仕事だと思っています。

会員のみなさんが、少しでも同窓会に関心に向けていただけるように活動して行く事を、今後の私目標としたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

菊地 幸男

毎日肌寒い夏が終わり(本当にかわいそうなのはセミでした。鳴いている時がなかった。)秋が山脈を越えて、いつそくとびにやってきました。紺碧の高い空でトンビが輪をかき、絹のような白い雲がひとつだけ秋風に追われ、やがて空の青さにとけて消えていく今日此頃です。

移転してから、初めて太工を訪れました。今年度より初めて同窓会本部役員をおおせつかりました第五回生の菊地です。今後共宜しく御願致します。

私が太工に入学した昭和四十年代前半の太工の様子についてお話ししましょう。当時の工化は旧日

本軍と同じでした。科長の岩谷先生(チビ、デブ、ハゲ)の最初の言葉が、「お前たちは一年間人間として扱わない」でした。二年目は三〇%の人格を認め、三年目は五〇%でした。こわい先生もたくさんいました。小島先生、空井先生、茂木先生、赤間助手 etc etc

その実態は、化学実験中にガラス器具を誤って破損した場合、注意力が不足していると最低四時間は立たされました。又、軟式野球の同好会を作った友人は、その解散を指示されました。今の二十代の人には到底耐えられない時代を過ぎたことにより、現在、少々のことでは挫折しない気力を得ることができたと痛感します。紙面をおかりして当時の諸先生方に、厚く御礼申し上げます。



太田工高

(ミシユラン) MOTC支部発足

十四期C 工藤孝俊

初めて、本部役員の会計監査に任命され、責任の重さを感じています。

さて、今年の三月に、かねてから同窓会本部より、太田市近郊企業の中で同窓生の多い事業所から支部を設立してほしいとの要望に答え、ミシユランオカモト支部(通称MOTC支部)が発足しました。

当社の知名度も日を増すことと大きくなりつつありますが、ここ

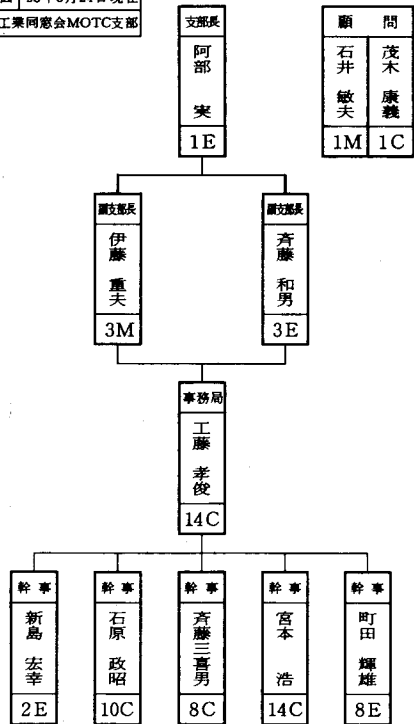
であえて紹介させていただきます。当社は、フランスのミシユラン社と地元企業のおカモト株式会社との合併により、四年前の七月に誕生したのがミシユランオカモト株式会社です。

同窓会員は、一期から二九期迄の四〇名で、機械、電気、工化、情報処理と全ての科の卒業生が、さまざまの分野で活躍しています。

MOTC支部の活動は、支部長を中心に「MOTC同窓会報」を定期的に発行し、工業同窓会の絆を深めると共に、同窓会本部を支援して行きたいと思っています。

最後になりますが、地元企業等の支部が多くなり、支部間の交流が出来れば幸いと考えております。

組織図 93年6月24日現在  
太田工業同窓会MOTC支部



二七期丁 鈴木由美

紺のブレザー・ネクタイそしてグレーのベストに箱ヒダスカート、見覚えのある制服を通勤途中に見かけます。自分が着ていたのがつい昨日の事のように思われます。ずっと昔の夢のようにも……

県立太田工業高等学校の女子一期生として卒業してもう二年が過ぎました。学年でたった五人の女子。一年の時は全校生徒の中でも五人だけ少人数ということで、楽しかった事も、苦しかった事も、悲しかった事も、思い出深いものです。この先長い人生の中で、いろいろな事があると思いますが、高校の三年間は生涯忘れることのない、かけがえないものとなることでしょう。これも、先生をはじめいろいろな人に守られ、助けられたおかげです。

女子の人数が極端に少ない高校生活の中で、精神的に強く、たくましく、やさしくなったように思います。ちょっとやそつとのことでは負けません。

太田工業の女子もだいぶ多くなってきたようですが、がんばって欲しいです。もちろん私も太田工業の名に恥じぬようがんばります。

多趣味

四期E 関口和男

趣味は人間の巾を広くするとよいかわれるが、アマチュア無線、コント、ボウリング、カトレア栽培、川柳、その他ひとに公表できない趣味等多趣味な私である。

その中で高貴な趣味と言われているカトレア栽培について記してみた。

熱帯のランが、ヨーロッパの文化圏に入ってきたのは意外と遅く、一七三一年、西印度諸島から英国に送られたのが最初のように、我が家に入ってきたのは今から十七年前であった。

丁度その頃八ミリ映画のタイムラバックに何かいいものはないかと考えているうち、カトレアのアップをタイムトルバックにすれば鮮烈なイメージになると思い近くのラン園を訪れたのが最初であった。

加温設備もなく育てたため、一年程で腐りかけて万事休すと思っただが、ひと株だけ生き残ったため今日までカトレア栽培が続いている。

栽培技術が進んでくると、カトレアを苗から育ててみたくなる。通常カトレアの種子は種子自身に

養分がないので発芽しにくいので、フラスコ内に培地をつくりその中で育てる。そしてできた苗をフラスコ苗と呼ぶが開花するまで通常五〜六年で開花する。そして実生のカトレアであればどんな花が咲くかわからない。開花の直前はまるで遠くはなれた恋人と会う前のように胸が高まるのである。

花に愛情をこめ育てれば美しい花が咲き、手を抜けばそれなりの花が咲き花は正直である。

時たま女房が花に傾注する私に、文句のひとつやふたつ言うがあまり気にしない。

今後大きなラン展で入賞するような花を作出するのが目標である。そして入賞したら罪ほろぼしに女房の名前を冠した名前をつけてみたいと思っている。

原稿が余ったので、自選川柳を一句、

読売新聞一面によりり時事川柳欄があり、毎日秀句を五つ掲載しているが、五年前に初めて掲載された川柳

休日をパジャマで過ごす粗大ゴミ

追記、この川柳は自画像川柳でもある。

第11回 工業祭

テーマ『燃やせ情熱 太工宣言』

—Welcome to our Technical World—

参加団体

1、部、同好会、委員会

団体名	テーマ
山岳部	山行記録、写真、装備等の展示
テニス部	招待試合
映画研	学校紹介ビデオ放映
囲碁将棋部	詰将棋、対局
写真部	展示、写真の出来るまで
パソコン研究	自作ゲーム
自動車同好会	エンジン、ゴーカートの展示実演
サッカー部	招待試合
野球部	招待試合
無線部	QSLカード、無線機の展示、交信実演
美術部	作品展示
アニメ部	イラスト展示、ビデオ鑑賞
天文部	展示実験、プラネタリウム
図書委員会	読書調査結果発表、和綴じの方法、文学館場所展示

2、工業科

団体名	テーマ
機械科	旋盤、各種、溶接、ロボット、など
情報科	コンピュータ実習、ロボット、CAD、など
電気科	6テーマ
工化科	プラント実習、石鹸、キーホルダー、など

# あの青春・感動をもう一度

## 同窓会員諸氏へのご案内 だい11回工業祭

同窓会コーナーを設けましたので、お気軽にご来場下さい。

開催日；10月30日(土)12:00～15:30  
31日(日)9:00～15:00



### 学校だより

職員異動 平成五年四月

- |            |                 |                 |                  |                    |                  |                |                 |                  |                  |                  |                  |                   |                 |
|------------|-----------------|-----------------|------------------|--------------------|------------------|----------------|-----------------|------------------|------------------|------------------|------------------|-------------------|-----------------|
| 飯塚 誠教頭 板倉へ | 小島 正三先生(工化) 伊工へ | 芹沢 勝美先生(保体) 桐工へ | 石北 清先生(音楽) 榛名養護へ | 中野 勇治先生(機械) 警センターへ | 塚越 治美先生(電気) 館商工へ | 新井 博先生(機械) 桐工へ | 宇佐美義美先生(工化) 伊工へ | 堀本 一郎先生(英語) 西邑楽へ | 横堀 嘉広先生(数学) 前橋東へ | 小林 一雅先生(社会) 太田東へ | 柿沼 允子先生(養護) 西邑楽へ | 七原 登先生(国語) 警センターへ | 小山 正志先生(機械) 藤工へ |
|------------|-----------------|-----------------|------------------|--------------------|------------------|----------------|-----------------|------------------|------------------|------------------|------------------|-------------------|-----------------|

次の先生方は新任の先生です。

- |               |                   |                  |                 |                  |                  |                  |                  |                  |               |                |                |                 |
|---------------|-------------------|------------------|-----------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|---------------|----------------|----------------|-----------------|
| 高橋 二千雄教頭 桐工より | 小林 治太郎先生(工化) 伊工より | 斎藤 善七先生(音楽) 境高より | 小沢 潔先生(保体) 館高より | 波形 匡章先生(電気) 藤工より | 徳田 洋志先生(英語) 榛名より | 齋藤 伸明先生(機械) 渋工より | 山口 卓治先生(機械) 桐工より | 新井 敏美先生(養護) 桐南より | 小川 治先生(社会) 新採 | 酒井 敦史先生(国語) 新採 | 三木 敏聖先生(理科) 新採 | 今尾 隆吉先生(社会) 非常勤 |
|---------------|-------------------|------------------|-----------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|---------------|----------------|----------------|-----------------|

### 編集後記

涼しい夏があつという間に過ぎ去り、もうすっかり秋たけなわとなりましたが、会員の皆様はいかがお過ごしでしょうか。会報の二号をお届けします。今回は本部署員の改選、新役員の紹介と第一回の工業祭のご案内を中心に編集しました。特に工業祭はご案内のとおり同窓会コーナーを設けましたので、新築移転になった最新鋭設備の校舎と、ひたむきな後輩諸君の作品をご覧いただきながら、お気軽にご来場ください。最後になりましたが、原稿を頂きました諸先生方をはじめとして、皆様に紙面をお借りして御礼申し上げます。(天ヶ谷 記)

- |                 |                 |                 |                 |                 |
|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 築比地 寛先生(数学) 非常勤 | 竹上 章子先生(国語) 非常勤 | 西村 充朗先生(保体) 非常勤 | 高坂 真人先生(国語) 非常勤 | 松永 守男先生(国語) 非常勤 |
|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
- 次の先生方が退職されました。
- |             |                 |                 |                 |                 |
|-------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 佐藤 正孝先生(理科) | 永浜 清光先生(電気) 非常勤 | 尾嶋 恒美先生(工化) 非常勤 | 富井 裕司先生(英語) 非常勤 | 新井 磯男先生(電気) 非常勤 |
|-------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|